

【統一文字及び、誤りやすい漢字や送り仮名などの一覧】

教務部 2025 年 4 月：修正

【統一文字などの一覧】

先生・指導者 教員	「教師」に統一												
友人・級友 友達・仲間	「他生徒」に統一 ※学年の関係性を表すときは「同級生」「上級生」「下級生」など ※関係性を表す必要がある場合（「友達が増えました」「部活動の仲間と～」） など、内容によっては記載あり。												
声かけ 言葉掛け 言葉がけ	「言葉掛け」に統一 または「言葉を掛ける」												
賞賛 称賛	「称賛」に統一												
学級・クラス・ホ ームルーム	「学級」で統一 ※活動の表現「ホームルーム活動」「SHR」「LHR」												
演示	「手本」または「見本」												
分かる 解る 判る	「分かる」に統一												
iPad アイパッド タブレット	「タブレット端末」	<table><tr><td>【Apple】</td><td>【Google】</td></tr><tr><td>Pages</td><td>ドキュメント</td></tr><tr><td>Numbers</td><td>スプレッドシート</td></tr><tr><td>Keynote</td><td>スライド</td></tr><tr><td colspan="2">など ipad 関連は「アプリ」で統一</td></tr></table>		【Apple】	【Google】	Pages	ドキュメント	Numbers	スプレッドシート	Keynote	スライド	など ipad 関連は「アプリ」で統一	
【Apple】	【Google】												
Pages	ドキュメント												
Numbers	スプレッドシート												
Keynote	スライド												
など ipad 関連は「アプリ」で統一													
Word ワード Excel エクセル PowerPoint パワーポイント	文書作成ソフト 表計算ソフト プレゼンテーションソフト												
オンライン ズーム グーグルミート	「オンライン」 ※オンラインを活用して授業に参加など												
数字の表記	・ 算用数字：1 桁⇒全角、2 桁以上⇒半角 ・ 横書きは基本算用数字 ⇒ 5 %、36.5℃など ・ 構成用語として用いられる数は漢数字で表記 ⇒一つ、二つ…、一日、一年生、一回、一番、三択、一人一人など ・ 概数は漢数字 ⇒ 数十人 ★常用漢字表にある「箇」「ヶ」「カ」は、算用数字を使う場合は×。 ⇒「3 か所」「7 か月」 概数を示すために漢数字を用いる場合は「数箇所」「何箇所」と表す。												
ローマ字	・ 1 文字⇒全角、2 文字以上⇒半角												
周囲 周り	「周り」に統一 （※周囲とは円状に囲うようにした範囲のこと）												
等 など	原則仮名「など」だが、羅列された同種のものが続く場合は「等」でよい												
短パン、半ズボン	「ハーフパンツ」で統一												
ワークシート 学習シート	「プリント」で統一												

【誤りやすい漢字や送り仮名】

（「公用文の表記（東方出版社）」を基に作成しました。 × 常用漢字外の表記）

2014年11月25日：【改訂新版 5刷（増補改訂）】

令和4年1月7日：公用文作成の考え方（建議）文化審議会

【ア行】

読み方	
あいさつ	挨拶
あいまい	曖昧
あえて	〈×敢えて〉
あきらめる	諦める
あける	開ける：閉じていたものを開く。（戸の開け閉め、口を開ける） 空ける：からになる。（道を空ける） 明ける：明るくなる。（夜が明ける）
あげる	上げる：高くする（反）下げる（頭を上げる、歓声を上げる） 挙げる：見えるように（手を挙げる、例を挙げる） 揚げる：ふわふわと上へ（風を揚げる）
あご（がく）	顎
あこがれ	憧れ、憧れる
あし	足：人や動物の「あし」。特にひざやくるぶしより下の部分。（足の裏、手足） 脚：「あし」の特にももから足首までの部分。器物の支え。 （脚力、三脚、机の脚、）
～（して）あげる	原則として仮名。貸してあげる。
あたたかい	温かい：冷たなくて気持ちよい。優しい。（温かい料理、心の温かい人） 暖かい：寒くなくて気持ちの良い。（暖かい日ざし）
あたる、あてる	当てる
あてな	宛名 宛先
あとかたづけ	後片付け
あやまる	誤る：間違える。（適用を誤る、誤りを見付ける） 謝る：自分の悪い点をわびる。（謝って済ます、手落ちを謝る）
あらかじめ	あらかじめ〈×予め〉
あらわす	表す：一般用語（～を言葉で表す、書き表す） 現す：姿や本質を具体的に見せる。（姿を現わす）
あるいは	×或いは
あわせる	合わせる（相手に合わせるなど）
生かす いかす 活かす	「生かす」に統一
いかん	×如何
いし	意思：何かをしようとする思い、考え。（意思表示、本人の意思） 意志：進んで何かをしようとする積極的な気持ち、決心。（意志の強い人）
いしゆく	萎縮
いす	椅子
いたす	致す
いまだ	〈×未だ〉
いふ	畏怖
いらいら	公用文では、いらいら（ひらがな）
いろいろ	公用文では、いろいろ
うえで	上で ～した上で
うかがう	伺う：聞く、訪ねるの謙譲語

うけいれる	受け入れる 〈×受入れる〉
うしろ	後ろ：（前と後ろ）
うち	～のうち。「内に秘める」などは漢字。
うつす	写す：まねてそのとおりに書く。ある物をまねてそのとおりの形につくる。 （ノートを写す） 映す：他の物の表面に現す。（スライドを映す） 移す：場所を移す。行動に移す。
うなづく	〈×頷く〉
うらやましい うらやむ	羨ましい。 羨む。
うれしい	〈×嬉しい〉
えり	襟
えんすい	円すい 〈×円錐〉
おいしい	〈×美味しい〉
おいて	〈×於いて〉
おうせい	旺盛
おおむね	〈×概ね〉
おくそく	憶測
おくする	臆する
おこなう	行う
おっくう	〈×億劫 ×億くう〉
おのずから	〈×自ずから〉
おもい	思い 〈×想い〉
おもわく	思わく 〈×思惑〉
およぶ・および	及ぶ、及び（接続詞）
おりる	下りる：下へ。（坂を下りる）一般用語。 降りる：他の場所へ。（電車を降りる）限定用語。

【力行】

読み方	
かいもの	買物（名詞）
かいとう	回答：返事する（答えが決まっていないもの） ※アンケートの回答結果 解答：こたえ（答えが決まっているもの、正解があるもの） ※テストの解答
かえりみる	省みる：自分の行いの善悪を考え直す。（自らを省みる） 顧みる：過去のことを思う。振り返ってみる。（過去を顧みる）
かかわる	関わる 〈×係わる ×拘わる〉
かき	夏季：夏の季節（夏季休業） 夏期：夏の期間。夏の間。（夏期講習）
かぎ	鍵
かく	書く：文字などを記す。（きれいな字を書く） 描く：絵や図に表す。（絵を描く）「えがく」とも読む。
かぐ	嗅ぐ
かぜ	風邪
かた	形：かたち。（手形） 型：元になる形、手本。（型紙、型はめパズル）
かたい	堅い：がんじょう。中味がつまっている。（堅い材木） 固い：強くしっかりしている。変形しにくい。反 柔らかい（固い握手） 硬い：石や金属が外力に強い。こわばっている。反 軟らかい（硬い表情）
かたかな	片仮名 〈×カタカナ〉

かたづけ	片付け
かつとう	葛藤
かなう	〈×叶う〉
かなしい	悲しい 〈×哀しい〉
かばん	〈×鞆〉
かむ	〈×噛む〉
かもしれない	原則として仮名
からだ	体 〈×身体〉
かわる	変わる：改める、移す。（日程が変わる） 替わる：別の物事に。（メンバーが替わる、入れ替わる、交替） 代わる：ある役目を他のものがはたす。（ご飯のお代わり） 換わる：交換など（金に換わる、配置が換わる）
かんしょう	観賞：動植物や景色を見て楽しむこと。（草花を観賞する、DVD観賞） 鑑賞：美術作品の美的価値を理解して味わうこと。（美術鑑賞）
がんばる	頑張る
きく	聞く：耳で音や声を感じ取る。たずねる。一般用語。 （先生の言うことを聞く） 聴く：身を入れてきく。耳を傾け、注意して聞き取る。（音楽を聴く） 利く：利用など。（左手が利く） 効く：効果など。（薬が効く）
ききとる	聞き取る
きずな	〈×絆〉
きちんと	適切な表現ではないため使用しない
きつおん	きつ音 〈×吃音〉
きづかい	気遣い（名詞） 〈×気使い〉 ※気をつかう（動詞）は「気を使う」
きづく	気付く
きまり	決まり
きゅうきょ	急きょ 〈×急遽〉
きれい	奇麗、きれい 〈×綺麗〉
きんさ	僅差
くぎ	〈×釘〉
くやしい	悔しい ×口惜しい
ください	下さい：おやつを下さい。 ～（て）ください。：「手伝ってください」→原則として仮名。
くらい	〈×位〉
けいれん	〈×痙攣〉
けのび	蹴伸び
ける	蹴る（ボールを蹴る）
けんぱん	鍵盤
ごい	語彙
こうてい	工程：作業の進行する順序 行程：道のり、日程
こえる	越える：上を通り過ぎる。向こう側へ行く。一般用語。（山を越える） 超える：超過など。数量、度合いなどが基準以上になる。 （制限時間を超える）
こころがまえ	心構え：物事に対する心の用意。（あの心構えでは、心もとない）
こたえる	答える：返事をする。（質問に答える） 応える：応じる。（期待に応える）

ごちそう	×御馳走 ×ご馳走
こつ	こつ 〈×コツ〉（仕事のこつを覚える）
こづかい	小遣い 〈×小使い〉
こと	事：事に当たる、事を起こす ～こと：～することがある 分からないこと
ごと	ごと 〈×毎〉（１年ごと）
ことばづかい	言葉遣い
こども	子供、子ども 子供たち（×達） 友達
ごみ	〈×ゴミ〉
こめる	込める ※心を込める
こもる	籠もる
ころ	頃（頃合い、この頃）

【サ行】

読み方	
さく	割く：時間、場所、資本などをわけける。（時間を割く、紙面を割く） 裂く：布、紙などを裂く引っ張って二つに断ち切る。（布を裂く）
さすが	〈×流石〉
さっそう	×颯爽 ×颯そう
さびしい	寂しい。×淋しい。
さまざま	様々：いろいろ（様々な考え）
さらに	原則漢字「更に」
さわやか	爽やか（爽やかな気分、爽やかだ）
さわる	触る：体の一部で軽く触れる。（手触り） 障る：妨げや害になる。（当たり障りのない話題）
ざんしん（な）	斬新（な）
しくみ	仕組み：組立て、工夫、趣向
しっかり	適切な表現ではため使用しない
しめる	閉める：開いていたものを閉じる。（ドアを閉める） 締める：きつく結ぶ。ゆるみをとる。一般用語。（ひもを締める） 占める：あるものを自分のものとする。（位置を占める、独り占め）
じゅうぶん	十分、充分
しゅうちしん	羞恥心
じゅけん	受検：検査を受けること。（高等部受検） 受験：試験を受けること。（高校受験）
しゅん	旬（旬の野菜）
しょうさん	称赞
しん	芯（ろうそくの芯、鉛筆の芯）
ずいぶん	随分
すき・すきま	隙・隙間
～すぎる	～過ぎる（丁寧過ぎるなど）
すごす	過ごす（楽しいときを過ごす）
すこしずつ	少しずつ 〈×少しづつ〉
すすめる	進める：前の方向へ行かせる。物事をはかどらせる。（計画を進める） 勧める：相手に誘い、促す。（食事を勧める） 薦める：人や物の良い点をあげて、採用を促す。（候補者として薦める）
すそ	裾
ずつ	ずつ 〈×づつ〉（少しずつ）

すばやい	素早い（素早い動き）
すべて	全て
すみやか	速やか
すむ	済む（～にならずに済む）
せいさく	制作：芸術作品などをつくること。（卒業制作） 製作：道具や機械を用いて物品、作品などを作ること。（プラモデルの製作） ※制～自由さがあるもの、製～規格が決まっているもの
せいりせいとん	整理・整頓
せっけん	石けん（石×鹼）
せりふ	×台詞
ぞうきん	雑巾
そで	袖（上着の袖口、袖丈）
そば	〈×側、傍〉（親のそばを離れる）
そろえる	〈×揃える〉（足をそろえる）

【タ行】

読み方	
たいせい	体勢：体の構えや姿勢。（無理な体勢） 体制：仕組み体制（研究の体制） 態勢：物事に対する構えや状態（受け入れの態勢）
たいせき	堆積：積もること、累積
だいたい	大体：ほとんど前部
たいへん	大変（そいつは大変だ、大変暑い）
たくさん	たくさん 〈×沢山〉
たこ	〈×胤〉（たこを揚げる） 〈×蛸〉（たこの足、酢だこ）
たたく	〈×叩く〉（太鼓をたたく）
ただし	〈×但し〉
たたむ	畳む
たち	〈×達〉（仲間たち、私たち）
たつ	×経つ
たとえば	例えば
たまる	たまる 〈×溜まる〉
ため	ため 〈×～の為〉
だれ	誰
ちみつ	緻密
ちやわん	茶わん（×茶碗）
ちゅうちょ	ちゅうちょ 〈×躊躇〉
つうじる	通じる
つかむ	つかむ 〈×掴む〉
つく	付く：離れにくくなる。くつつく。（身に付く、気が付く） 着く：到着する。ある場所を占める。着く（小包が着く。席に着く） 突く：強く押す。（手で突く、急所を突く）
つくる	作る：さまざまなものをこしらえる。一般用語。（ケーキを作る） 造る：大規模な造る建造物や酒、みそをこしらえる。限定用語（船を造る） 創る：新しいものをつくり出す。（新しい文化を創る）
つくり	作り（作り物、作り事）
～づくり	～づくり（町づくり、環境づくり、人づくり）

つづる	〈×綴る〉
とじる	〈×綴じる〉
つど	都度
つとめる	努める：力を尽くして事に当たる。努力。（問題解決に努める） 勤める：仕事に従事する。勤務など。（保険会社に勤める） 務める：役割を受け持つ。任務など。（主役を務める）
つまる	詰まる（言葉につまる）
つめ	爪
つむ	積む（経験を積む）
つながる	つながる、つなげる 〈×繋がる〉
つらい	〈×辛い〉（仕事がつらい）
ていねい	丁寧
てがかり	手掛かり
てきかく	的確／適確：的（まと）をはずさないで、まちがいがいいこと。 適格：資格にかなっていること。必要な資格を十分に備えていること。
できた	できた 〈×出来た〉
できばえ	出来映え
できだか	出来高
てのひら	手の平、手のひら、〈×掌〉
できる	原則として仮名。
てづかみ	手づかみ 〈×手掴み〉
てもと	手元 ×手許
どうし	同士：お互いが同じグループに属していること。（友達同士） 同志：同じ志をもつ仲間。（同志を募る）
とっさ	×咄嗟
とおす・とおる	通す、通る（～を通して、光を通す、通り過ぎる）
とおり	通り（通りに水をまく、通り一遍） ～（の）とおり（次のとおり、従来どおり、予定どおり）
とき	時期、時刻をはっきり示すとき。（昼時） ～（の）とき：原則として仮名。（給食のとき～）
とくちょう	特長：とくに良いところ、長所 特徴：特に目立つところ、特色
ところ	所：具体的に場所を示すときに用いる。（家を建てる所） ～（の）ところ：原則として仮名。（今のところ）
とぶ	飛ぶ：空中に浮かんで移動する（空を飛ぶ） 跳ぶ：はずみをつけて体を空中に躍らせること（跳び箱を跳ぶ）
とめる	留める：気に留める
とどめる	とどめる：心にとどめる
とも	仮名書き（～するとともに）（ただし「彼と共に…」などは漢字）
ども	原則として仮名。（私ども）
ともだち	友達
とらえる	捉える
とりあつかい	取扱い、取扱（取扱注意）
とりあつかう	取り扱う
とりくむ	取り組む
とりくみ	取組（単語の場合） 好取組など
とる	取る（一般用語：実行するという意味） ・行動を取る⇒行動する、行動に移す ・コミュニケーションを取る⇒コミュニケーションを図る

どんな	×どんな ○どのような （どのようなときでも、など）
-----	----------------------------------

【ナ行】

読み方	
ない	ない〈×無い〉 （自信がない、欠点がない）
なす	×為す
なぜ	×何故
など	～など 〈×等〉
ならび	並び 並びに（接続詞）
なれる	慣れる 〈×馴れる〉
におい	臭い：いやな臭い 匂い：よい匂い
ぬける	抜ける ×脱ける
ぬぐう	拭う
ぬれる	×濡れる
ねらう	狙う
のぞく	×覗く
のっとる	のっとる 〈×則る〉
のびる	伸びる：長さなどのび。（背が伸びる、学力が伸びる） 延びる：時間的なび。（会期が延びる）
のぼる	上る：そこを通して高い所に行く。一般用語。（坂道を上る） 登る：段々のぼる。（山に登る、壇に登る 反：降りる） 昇る：太陽・月などが空高く現れる。（日が昇る）

【ハ行】

読み方	
はいせつ	排せつ。 〈×排泄〉
はいぜん	配膳。
はいふ	配布：多くの人に広く配り、行き渡らせること。（チラシの配布） 配付：一人一人に配り、手渡すこと。（会議資料を配付する）
はかる	計る：数量や時間を計る調べ数える。計算する。（時間を計る） 図る：いろいろと試みる。企てる。（推進を図る） 測る：高さ、長さ、広さなどを調べる。測定する。（距離を測る） 量る：容積、重さなどを調べる。計量する。（タンクの容量を量る） 謀る：策略をめぐらす。だます。（逃亡を謀る、悪事を謀る） 諮る：ある問題について専門家などの意見を聞く（委員会に諮る）
はがす	剥がす：シールを剥がす。
はきはき	はきはき 〈×ハキハキ〉
はぐくむ	育む
はし	箸
はじめ	初め：時間・時期が早いときのことを表すのに使われる。 （年の初め、初めからやり直す、初めに挨拶をする、初めの感想） 始め：動作や活動が新しく行われることを表すのに使われる。 （始めと終わり、御用始め、手始め）
はばとび	幅跳び
はやい	早い：時間に余裕がある。時間が少なくてすむ。一般用語。 （予定より早く終わる） 速い：スピードや動きが急である。速度用語。（足が速い）

はる	張る：伸ばす、広げる、一面に覆う。一般用語。（根を張る、一面に覆う） 貼る：くっつける（ポスターを貼る）
ひらく	開く ×拓く
ひく	引く：物に手をかけて近くへ寄せる。一般用語。（線を引く） 弾く：弦楽器や鍵盤楽器を鳴らす。かなでる。（ピアノを弾く）
ひざ	膝
ひじ	肘
ひとなつこい	人懐こい
ひとり	一人：人の数の数え方（一人当たり） 独り：仲間や配偶者がいないこと独り（独り占め）
ひとりひとり	一人一人、一人ひとり
ひとつひとつ	一つ一つ
ひも	〈×紐〉
ひょうき	表記：言葉を文字や記号で書き表すこと。表に書き記すこと。 標記：目印に書かれた内容。
ひらがな	平仮名
ふきん	布巾
ふく	吹く：風が流れる、口をすぼめて息を出す（風が吹く、笛を吹く） 噴く：液体が勢いよく外に出る（山が火を噴く、噴火、噴出） 拭く：布や紙で表面の汚れをとる（汗を拭く、手拭き）
ふた	蓋
ふだん	×普段
ふれあう	触れ合う
ふりがな	振り仮名
ふやす	増やす
ぼうりんぐ	ボウリング 〈×ボーリング〉
ほか	他：その他（他の意見） 外：それ以外（思いの外）
ほしい	欲しい（お金が欲しい） ～（て）ほしい。：原則として仮名（見てほしい）
ほしょう	補償：損失などを埋め合わせること。（災害補償） 保証：ささえ防ぐこと。また、そのもの。（身元を保証する） 保障：生命、財産、権利などを保護して守ること。（身分保障）
ほど	〈×程〉
ほめる	褒める

【マ行】

読み方	
まじめ	真面目
ますます	〈×益々〉
また	また（接続詞）
まったく	全く：原則として漢字
まね	〈×真似〉（猿まね）
まぜる	混ぜる：他のものを一緒にして一つにまとめる。（小麦粉に砂糖を混ぜる） 交ぜる：別の種類のを加えて組み上げる。（漢字と仮名を交ぜて書く）
まわり	回り：ぐるっとひとめぐりすること。一般用語。（身の回り） 周り：物事を取り囲む範囲。周囲など。（周りの人）

みいだす	見いだす
みごと	見事
みつける	見付ける
ミス	適切ではない表現。 「間違い」など別の表現で
みにつく	身に付く
みとおし	見通し
みる	見る：視覚によって対象をとらえる。判断する。一般用語。（テレビを見る） 診る：医者や患者の具合を調べる。（患者を診る） 〈×観る、看る、視る〉 ～（て）みる：原則として仮名。
みな	皆 （皆さん、皆様）
みんな	みんな
めざす	目指す
めった	〈×滅多〉
めど	〈×目途〉
めりはり	〈×メリハリ〉
めん	麵
もしくは	若しくは
もつ	持つ
もって	×以て
もと	元：物事の始まりや原因。また、以前の状態。一般用語。（失敗は成功の元） 素：人工を加える前のもの。（ホットケーキの素） 下：物の下の所、何かの影響の及ぶ所。（旗の下、親の下を離れる） 基：物事の根幹や土台。基になる考え。（～を基に） 本：木の根あたり（松が本から枯れる）
もともと	もともと、元々 どちらでも可
もの	物：一般用語。（物を大切に扱う） ×ものごと⇒物事 者：人（１８歳未満の者） もの：「正しいものと認める」のような場合は、原則として仮名。

【ヤ・ラ・ワ行】

読み方	
やさしい	優しい：情け深い（優しい心） 易しい：簡単など（易しい問題）
やせる	痩せる・夏痩せ
やわらかい	柔らかい：ふんわりとしている。また、しなやかである。 （体が柔らかい、柔らかい毛布 反 固い、堅い） 軟らかい：ぐにゃぐにゃしている。くだけている。 （軟らかい地盤 反 堅い）
やめる	〈×止める〉
ゆえ	〈×故〉 それゆえ
ゆううつ	憂鬱
ゆびさし	指さし
よい	良い：優れている。適している。一般用語。（良い習慣、仲が良い） 善い：道徳的に正しい。特殊用語。（善い悪いの分別） ～（て）よい。：原則として仮名。（連絡してよい。）
よう	～（の）よう：～（の）×様（このような計画）
よる	×拠る
れんけい	連携：お互いに連絡を取り合って協力すること。（連携を深める）

	連係：他と密接なつながりをもって物事を行なうこと。（手と足の連係動作）
わかす	沸かす
わかる	分かる 〈×解る、判る〉
わけ	×訳 （～そういうわけにはいかない） 「訳がある」は漢字
わく	湧く：勇気が湧く
わざ	業：特別な能力を必要とする行為や仕事。一般用語。（離れ業を演じる） 技：巧みな術や優れた腕前（得意の技を披露する）
わずか	僅か

【その他】

〇〇や△△、□□など
～～したり、～～したりする
×：先輩、後輩 ⇒ 上級生、同級生、下級生
×：～していました ⇒ ～しました
×：～をし ⇒ ～し （例：確認をし⇒確認し）
×：～してくれました ⇒ ～しました
×：～すべき・・・ ⇒ ～すべき・・・

【あまり使用すべきではない表現（避けた方がよい表現）】

「～に欠ける」	※文章中は極力使わないようにする。 ※生徒の課題として記述する場合は、その後の働きかけや取り組み等につなげる表現とする。
「～が薄い」	
「～させる」	
「～できない」	△「意識に欠ける場面があるので、言葉がけが必要でした。」「目標に対する意識が薄いところがあるので、目標の確認をその都度行いました」など

【ふりがなを付けた方がよい場合】

芸術教科等における専門的な用語や漢字には、（ ）を付けて、ふりがなを付ける。

楽器の名前	箏：箏（こと） など
工芸の技法	堆朱：堆朱（ついしゅ） ※ 技法については、どのような技法かがわかる表現で記載する。